

オリナス
orinas

vol.19 / 2026.10

京都大原記念病院グループ 広報誌



特集

自費リハビリで切り拓く

Kyoto Ohara Memorial Hospital Group

保険診療からその先の支援へ 自分らしい生活を追求する

御所南リハビリテーションクリニックでは、2026年4月より「自費リハビリテーション」を本格的に始動いたしました。その背景には、現在の公的保険制度があります。保険制度には、対象となる疾患やリハビリ入



院・通院ができる期間に一定の定めがあります。結果的に「もう少し頑張りたい」「できることを増やしたい」という切実な想いに応えきれない場面が少なくありませんでした。

私は、そうした方々の諦めきれない想いに寄り添い、応えたいと強く考えてきました。リハビリの現場では、急性期や回復期の治療を経て退院することが一つの大きな区切りとなります。しかし、住み慣れた地域で生活する患者様と向き合う外来クリニックの立場から言えば、退院は大切な節目であっても、決してゴールではありません。実際の生活に戻ると、「春にはハイキングに行きたい」「友人とゴルフを楽しみたい」「孫をこの手で抱き

たい」「復職、復学したい」といった、より具体的に前向きな「自分はどうありたい」という想いが生まれてくるものです。そうした一人ひとりが心に描く目標こそが

リハビリの本質であり、その「自分らしい生活」の実現を支えることこそが、私たちの真の役割であると確信しています。

現在、自費リハビリは、主に保険診療の終了後も通院の継続を希望される方を対象とし、お一人おひとりのニーズにじっくりと向き合っています。医師による全身管理に基づく自由度の高い個別のプログラムを、長らくリハビリ医療に携わる医療専門スタッフが提供します。この点が最も重要なポイントです。

そして、この取り組みは疾患治療の延長に留まらず、「予防」という重要な視点も含んでいます。再発予防はもちろん、高齢者の就業率が高まるなど社会が変化する中、心身の衰えを早期に見極めて重症化を防ぐ「フレイル

予防」の役割がリハビリには強く求められています。

2028年には京都市中心部へ京都大原記念病院の移転を予定しています。新病院ではクリニックでの実践を通じて捉えたニーズを踏まえてプログラムを発展させ、一層、多くのニーズにお応えできるよう準備を進めています。日々の小さな「できた」を共に喜び、その先にある豊かな人生を共に歩んでいきましょう。

児玉 万実 Mami Kodama

獨協医科大学医学部卒。大病院・民間病院を経て、2006年より京都大原記念病院勤務。2015年より御所南リハビリテーションクリニックへ。2018年同 院長就任、現在に至る。日本リハビリテーション医学会認定医・専門医・代議員。京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室 臨床講師。日本内科学会認定医。



制度上の区切りが、リハビリのゴールとは限りません。 —信頼でつながる自費リハビリという安心のカタチ—

公的保険制度による対象疾患や期間、回数などの区切りを超えて、患者様が描く「復職、復学したい」「趣味や旅行を楽しみたい」など一人ひとりの目標に応える選択肢として始動した「自費リハビリテーション（自由診療）」。現場の声を通して、その取り組みの意義を考えます。

社会福祉士

chapter 1

医療スタッフが「制度の壁」を超えて伝えたかったこと スタッフもまた抱えていた「制度」と「目の前の患者様の願い」の間の葛藤

「決まりだから」と

断る心苦しさを超えて

看護師の視点

これまでは、リハビリを続けた

いという想いがある方にも、期限を理由に「決まりだから仕方ない」とお断りしなければならず、看護師として本当に心苦しく感じていました。自費リハビリという選択肢ができたことで、「あと1、2ヶ月頑張れば、家事や仕事への不安が減るのに」という想いに、「一緒に頑張りましょう」と応えられるようになりました。医療者が

理学療法士

看護師

しを長く支える「受け皿」になる

ことです。「仕事に戻りたい」「家事を安全にこなしたい」といった願いを実現するためには、必要な時に専門職の支援を受け続けられる環境が欠かせません。自費リハビリは、身体の機能だけでなく、その先にある生活や社会参加まで支える大切な選択肢です。「いつまでも自分らしく自由に過ごしたい」という想いに寄り添い、生活の基盤から支えていきたいと考えています。

「知った顔」だからこそ
できる質の高いケア
理学療法士の視点

リハビリで重要なことは医学的な根拠と、これまで築いてきた信頼関係です。クリニックの自費リハビリでは、一人ひとりに合った目標を立て、身体の状態を確認しながら進めていきます。また、入院中や

社会復帰後の

「安全な生活」を支える

社会福祉士の視点

私が社会福祉士として自費リハビリに感じている大きな役割は、退院後やリハビリ卒業後の暮ら

chapter 2

患者様・ご家族が実感する「心のリハビリ」と「家族の笑顔」 実際に自費リハビリを選ばれた患者様・ご家族のエピソード

「一人で出張へ」

その目標が自分を動かす

Iさまのケース

Iさまは、週1回の自費リハビリで受けた指導を、訪問リハビリで繰り返し実践しています。目標は「二人で出張へ行けるようになること」。

ホテルを探し、事前に体の状態を共有してお風呂いすなどの備品を整えてもらったにも関わらず、入浴中に浴槽で滑って立つことができなかつたかつての経験が背景にあります。Iさまはリハビリを続けられる環境について「意欲があ



れば受けられる場所があることは、救いです」と語ります。一人でできることが増えたことで、家庭の日常も変化しました。奥様も趣味のプールに通えるようになり、「自分の時間が持てるようになった」と笑顔が戻ったのです。

心のリハビリこそが、
自費リハビリに通う理由

Kさまのケース

脳出血後の後遺症と向き合うKさまは、自費リハビリを「心のリハビリ」と呼んでいます。「自分の状



態をわかってくれている信頼できる先生たちが変わらずにいてくれる。それだけで安心できるんです」。さらに、同じようにリハビリに励む他の患者様との交流も大きな励みになっています。予約より早めに来て、仲間が頑張る姿を見る。それがKさまにとって前向きに生きるエネルギーになり、「月2回（90分/回）の通院が毎回楽しみ」だと言います。

chapter 3

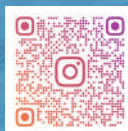
結びに…
信頼という絆で、
未来をともしにつくる

自費リハビリを、「今の生活と自立を守るための投資」ととらえるお声もありました。

制度上の区切りを越えて、お一人ひとりの意思を尊重し、「信頼できる医師をはじめとする専門スタッフとの関係性がずっと続いていく」という安心感。この取り組みが持つ最大の価値です。しかし、取り組みはまだ始まったばかり。今後はこの価値をさらに高めるため「自由度の高いプログラム設計」や保険診療終了後だけでなく、いつまでも自分らしい「自由な暮らし」を支えるための「予防」的サービスの可能性も模索していきます。

拝啓、現場より。 建築工事レポート

工事の進捗は
公式
Instagram
で発信中



新病院建設は、起工式から約半年が経過し、着実に工事が進んでいます。5月下旬には病院の土台を作る基礎工事が本格化しました。地盤を固めるためのコンクリート作りや大規模な土砂の搬出が行われ、1日に10トントラック約40台が行き来する様子が見られました。6月下旬時点では、現場の景色は砂地から大きく変化しています。鉄骨を運ぶための巨大な重機が導入され、上部の運転席で操作が行われていました。7月には、

完成後には見えなくなるものの建物を支える重要な柱のボルトが設置され、鉄筋の組み立て作業が進められていました。また、現場の仮囲いには「あしたを、あなたらしいに。」というメッセージを掲げたブランドビジュアルが登場。多くの地域住民が足を止めています。9月にはドナルド・マクドナルド・ハウス京都の起工式も執り行われました。一歩一歩完成へと近づくプロジェクトの進捗を、今後ぜひ見守ってください。



医療をもっと自由に！あなたの理想を叶えたい。

自費リハビリプログラムのご案内

病中、病後の後遺症でお困りの方、日常生活に不安をお持ちの方へ

「**医師**」をはじめとする医療専門スタッフが
寄り添う、**オーダーメイドリハビリ**です。

- Point 1 リハビリテーション専門医による
「**医学的マネジメント**」
- Point 2 制度の枠を超えた
「**完全オーダーメイド**」
- Point 3 困ったことは相談できる
「**メディカルコンシェルジュ機能**」

プログラムの概要

個別リハビリのご提供

ご利用者個別の
プランに基づき
完全マンツーマンで実施

サポートオプション

リハビリの効果を高める
各種サポートをご用意
(看護ケア／栄養指導など)

■ご利用プラン

	実施時間(1回あたり)	料金(税別)	特典
ライトプラン (4回利用)	60分	¥59,800-	サポートオプションA・Bの 【いずれか1回】付
	90分	¥89,800-	
しっかりプラン (8回利用)	60分	¥114,800-	サポートオプションA・Bを 【各1回ずつ】付
	90分	¥169,800-	

■サポートオプション

- A 管理栄養士による栄養指導 | 所要時間目安 約15分
- B 看護師によるリラクゼーション | 所要時間目安 約15分 (ハンドバス or フットケア or ネイルケア) ※日曜日限定

■専用機器



磁器刺激治療



体外衝撃波治療機器 ショックウェーブ



上肢機能検査



各種 自主トレーニングマシン

■営業時間

	月	火	水	木	金	土	日
自費リハビリ プログラム	17:00 19:00	17:00 19:00	—	17:00 19:00	—	—	9:00 13:00
	9:00 17:00	9:00 17:00	9:00 17:00	9:00 17:00	9:00 17:00	9:00 17:00	休
通常診療							

■お問い合わせ

専用ダイヤル

090-3873-6707

受付時間: 日祝除く 9時~17時

御所南リハビリテーションクリニック
〒604-0971 京都市中京区樹屋町327
(京都地方裁判所 東隣)